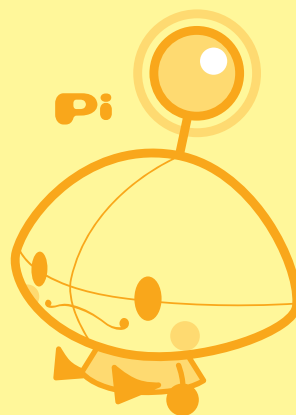


0さい

視力より聴力が発達しているこの時期は、色や形がはっきりしていて、言葉の繰り返しやリズム感のある絵本がおすすめです。



くだもの

平山和子／さく
福音館書店

まるで本物のような写実的な絵で、優しい色彩の絵本です。繰り返しでテンポもよく楽しくコミュニケーションできます。



でてこいでてこい

はやしあきこ／さく
福音館書店

「でてこいでてこい」といういろいろな動物が出てきます。色彩も鮮やかで絵の形や輪郭もはっきりしていて見やすいです。



なーんだなんだ

カズコ G・ストーン／さく
童心社

鮮やかな赤の背景にゆっくり顔を出してくるパンダが可愛い絵本です。「なーんだなんだ」という言葉もリズムカルです。



いないいないばあ

松谷みよ子／文
瀬川康男／絵
童心社

「いないいないばあ」はこの時期に最も必要な遊びだといわれています。手で隠れている顔が見えた時の安心感をあかちゃんに味あわせてあげてください。



がたんごとんがたんごとん

安西水丸／さく
福音館書店

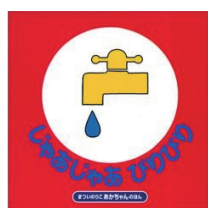
「がたんごとん」のリズム感がよく、哺乳瓶やくだもの、食器など、あかちゃんにとって身近なものが登場します。



おつむてんてん

なかえよしを／さく
上野紀子／え
金の星社

あかちゃんの頭を触ってあげながら「おつむてんてん」を楽しめる1冊です。表情豊かで優しい絵を見ながら一緒に体を動かしてみてください。



じゃあじゃあびりびり

まついのりこ／作・絵
偕成社

「じどうしゃぶーぶー」「みずじゃあーじゃあー」楽しく明解な絵とリズムカルなことば。あかちゃんが耳で音を聴きながら物を認識する絵本です。



ちいさなうさこちゃん

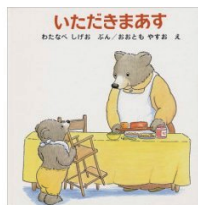
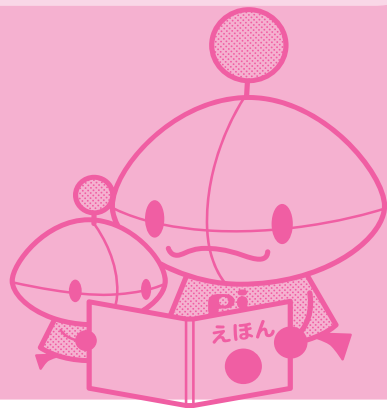
ディック・ブルーナ／ぶん・え
福音館書店

おなじみの「うさこちゃん（ミッフィー）シリーズ」のはじまりのお話です。優しい言葉とあざやかな色使いの本であかちゃんの目を引きまします。

1

さい

ひとりで上手に歩けるようになり、探索活動もさかんになります。少しずつ言葉も出てきて、「言葉」と「物」のイメージが一致し始める時期です。また、「自分でしたい」という自我が芽生えてくるので、食事や着替えなど身近なことが描かれた絵本も興味を引きま



いただきます

わたなべしげお／ぶん
おおともやすお／え
福音館書店

自分でスプーンを持って食べたいという気持ちが高まってくる時期です。この本を見るように子どもさんを見守ってあげたいですね。



たんたんぼうや (0,1,2 えほん)

かんざわとしこ／ぶん
やぎゅうげんいちろう／え
福音館書店

リズム感があって、実際にまねをしながら体を動かして楽しめる本です。親子でまねっこしてみましよう。



おつきさまこんばんは

林明子／さく
福音館書店

おつきさまの表情が可愛らしく、裏表紙の絵が印象的な本です。おつきさまに語りかけるような口調の文章が心地よく、やさしい気持ちになります。



はらぺこあおむし

エリック＝カール／さく
もりひさし／やく
偕成社

美しい色彩でシンプルな内容、丸く穴も開いているので子どもの興味をそそる大人気の本です。想像力もふくらみますね。



きんぎょがにげた

五味太郎／作
福音館書店

「きんぎょはどこかな?」「ここ!」というように親子で探すのを楽しめる本です。指さしや探索活動がさかんになってくる時期に読みたい1冊です。



したく

ヘレン・オクセンバリー／作
文化出版局

お母さんといっしょに楽しめる、文字のない知育絵本です。身近なもの、人を取りあげて子どもの興味をそそります。



しろくまちゃんのほっとけーき

森比左志・わだよしおみ／文
わかやまけん／絵
こぐま社

この本の見所はホットケーキの焼ける場面です。「ぼたあん、ぴちぴち、ふくふく…」などの擬音が五感に訴えかけます。



もこもこもこ

谷川俊太郎／作
元永定正／絵
文研出版

「もこ」「ぱく」「つん」など、独特な表現が子どもたちをとりこにします。子ども心にしかわからない世界観を楽しめます。